

実証実験概要

1.概要、目的

和歌山県串本の鯖やグループ(フィッシュ・バイオテック株式会社)のサバ養殖漁場にて、MoBiol グループが提供する微細藻類を使ってサバを養殖していきます。魚粉を置き換える事で、天然資源への負荷を減らすのみならず、魚の健康にも効果を発揮する微細藻類を使用する事で、健康的で活きのいいDHAが豊富なサバを育てて参ります。

また、そこから出てくるサバを分析して、通常の商品と比べて何が違うのかを定量的に分析します。原料によってどう変わるのか、どうすればおいしくなるのかを分析して、原料から魚までを紐づけた“おいしい”サバのスタンダードを確立していきます。

2.期間

2020年11月2日(月)～2021年11月1日(月)まで

3.場所

和歌山県東牟婁郡串本町大島8

4.各社の役割

<MoBiol グループ>

- ・原料及びその詳細データの提供
- ・“おいしい”の定義の分析
- ・実験における知見の提供
- ・ビジネス化までのコミットメント

点での取組ではなく、全体を通じて不足を補える融通できる関係性。

- ・成分値の定量的な分析、データ提供
- ・原料の供給及び藻類の学術的に見た強み

<鯖やグループ>

- ・串本町の設備を使った実験
- ・入口(種苗)から出口(成魚)までの育成
- ・出来た商品の完成製品の市場調査
- ・MoBiol グループの原料使用と配合飼料化
- ・魚の販売を通じたパーム課題の背景の啓発
- ・当社原料と餌を紐づけたブランディング

5.検証項目

- ・微細藻類を摂取したサバの増体率
- ・微細藻類を摂取したサバのDHA増加率
- ・微細藻類を摂取したサバのアミノ酸、脂肪酸分析
- ・最適な飼料組成の検証

和歌山県串本の養殖サバ

